

ストレージマネージャー概要

概要

WalkMeプレーヤーは、WalkMeのプレーヤーの状態を維持したり、ウォークスルーの再生のコンパイルを監視したり、アナリティクスを収集したりするためのデータを格納します。この目的のためWalkMeはファーストパーティCookie、サードパーティCookie、ローカルストレージ)、およびファーストパーティローカルストレージを使用します。個人データは保存されず、ウェブサイトのユーザー使用状況に関する情報は監視されません。

WalkMeが設定したCookieは、名前に「wm-」という接頭辞が付いています。WalkMeは、WalkMeの設定に応じて異なるCookieを使用します。たとえばCookieやローカルストレージを使用してWalk-Thruを完了するためのユーザー情報を追跡することができます。

WalkMeで独自のCookieを作成する方法については、[WalkMeデータに関するこの記事をご覧ください。](#)

WalkMeは、以下のような理由でエンドユーザーのブラウザーにデータを保存します：

1. スマートウォークスルーの状態（エンドユーザーがスマートウォークスルーの途中であるかどうか）
2. 自動再生ステータス（デプロイ可能ファイルがすでに再生されているかどうか）
3. ゴール完了
4. WalkMeデータ

注

ユーザー拡張機能には、サードパーティのCookieを使用する必要はありません。

定義

1. **ストレージ方法**：ファーストパーティ（同ドメイン）またはサードパーティ（クロスドメイン）のいずれか、ブラウザ上でのストレージの保存方法
2. **ストレージタイプ**：ブラウザでのストレージの保存場所（ローカルストレージとCookie）
3. **ブラウザストレージとサーバーストレージ**：データがエンドユーザーの現在のブラウザにのみ保存されるか、またはWalkMeのサーバーに送信されるか（詳細は以下を参照）

サーバーストレージとは？

サーバーストレージは、WalkMeプレーヤーサーバーを介して、異なるブラウザー間でエンドユーザー

の状態を同期します。

以下のエンドユーザーの状態はサーバストレージに保存され、異なるブラウザに同期されます：

1. 1回のみ自動再生の評価
2. ゴール完了
3. TeachMeコースの完了
4. WalkMeデータ

ご確認ください

サーバストレージに関しては以下をご注意ください。

- エンドユーザーIDを定義する必要があり、WalkMeで生成されたエンドユーザーIDでは動作しません
- 実行時にクライアントでエンドユーザーIDを見つける必要があります
- エンドユーザーIDは、60文字未満である必要があります
- データは24時間ごと（研究開発部署で設定可能）に定期的に同期され、クライアントにすでに状態があり、他のブラウザで状態が変更された場合、それが更新されるまでに数時間かかります

拡張機能ストレージ

拡張機能ストレージは、WalkMeストレージオプションの範囲を増やすことを意図しており、最終的には拡張機能を備えた実装向けのデフォルトのストレージ設定になります。WalkMe関連のデータは、拡張機能設定内に安全に保存され、ブラウザのセキュリティ設定を調整する必要はありません。

拡張機能ストレージは、Chrome、Firefox、Edge Chromiumとの互換性があります。

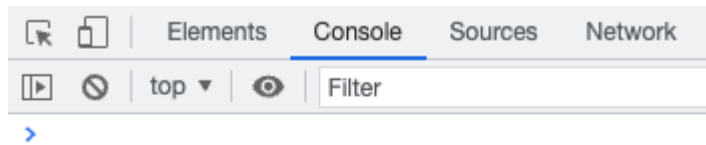
ストレージAPI

ストレージAPIは、さまざまなタイプのストレージを管理するための簡単で統一されたインターフェースを提供する、新しいブラウザベースのAPIです。重要な情報を失ったり、ログインし直す必要なく、より効率的かつ選択的にデータを管理するために使用します。

ブラウザレベルのデータに依存するWalkMeコンテンツのテストまたはトラブルシューティングのために、ブラウザのキャッシュとCookieをクリアする必要性を置き換えます。キャッシュとCookieをクリアすることは、ローカルレベルでWalkMe関連のデータをリセットする一般的な方法でしたが、これはすべての保存データも削除し、ユーザーがウェブサイトにログインし直す必要があります。

さらに、ストレージAPIは、WalkMeの拡張機能ストレージの段階的なロールアウトの便利な一部でもあります。拡張機能ストレージにより、ブラウザのキャッシュとCookieをクリアすることは、オプションではありません。WalkMeデータのクリアが必要な際には、代わりにストレージAPIを使用します。

APIは、ブラウザの開発者ツールコンソールで利用できます。コンソールへアクセスするには、ウェブページを右クリックし、検査を 選択します。次に、コンソールタブをクリックします。



利用可能なコマンドのリストは次のとおりです。

WalkMeAPI.storage.getAll()

- 現在のブラウザにローカルに保存されているすべてのWalkMeデータを戻します
- このコマンドを使用して、すべての既存のデータと、以下のキーで設定したデータを表示できます

```
WalkMeAPI.storage.getAll()
▼ {wm-ds-b: '[]', wm-ds-lb: '{}', wm-cseu-id: '6d7e1d59-ff6e-4867-b072-efba9460d67b', wm-ds-s: '[]', wm-ueug: '6478b0d6-2ee9-4837-8bb0-6a328f292274', ...} ⓘ
  wm-cseu-id: "6d7e1d59-ff6e-4867-b072-efba9460d67b"
  wm-ds-b: "[]"
  wm-ds-hb: "[]"
  wm-ds-lb: "{}"
  wm-ds-lbb: "{}"
  wm-ds-lbp: "[]"
  wm-ds-lfb: "{}"
  wm-ds-s: "[]"
  ▶ wm-hb: {sendBaseTime: 1681028422879}
  ▶ wm-lnchr-ply-ssn: "a17d688b-26eb-4907-8b6f-92705ed9d699"
  ▶ wm-session-per-user: {bf7ed7d7-4ec5-45f9-aa72-f8024a2c145e: {...}, 6478b0d6-2ee9-4837-8bb0-6a328f292274: {...}}
  ▶ wm-smtp-init: {type: 6}
  wm-ueug: "6478b0d6-2ee9-4837-8bb0-6a328f292274"
  wm-wmv: "6478b0d6-2ee9-4837-8bb0-6a328f292274"
  ▶ [[Prototype]]: Object
```

WalkMeAPI.storage.removeAll()

- 現在のブラウザにローカルに保存されているすべてのWalkMeデータを削除します
- デフォルトのWalkMeデータキーは、ページの更新後にリセットされます

WalkMeAPI.storage.setItem()

- テスト目的でカスタムデータキーを作成するために使用します
- 2つの必須フィールドと1つのオプションを受け入れます

- **キー**：ストレージに追加するキーの文字列名。キーがユニークであることを確実にするために、デフォルトでプレフィックスとして「wm-」を追加することをお勧めします。
- **値**：追加するキーの値。文字列または数値を使用できます
- **(オプション) 秒単位での有効期限**：キーをローカルストレージに存在させる秒数。指定されていない場合、デフォルトの2年という値が割り当てられます。
- **例**：
 - WalkMeAPI.storage.setItem('test-1',123)は、名前「wm-test-1」値123のキーを2年間設定します。このキーを設定し、WalkMeAPI.storage.getAll()を実行すると、以下の結果が得られます。
 - WalkMeAPI.storage.setItem('test-2','Test value', 360)は、名前「wm-test-2」値「Test value」のキーを360秒間設定します。

```
> WalkMeAPI.storage.getAll()
< {wm-ds-b: '[]', wm-ds-lb: '{}', wm-cseu-id: '6d7e1d59-ff6e-4867-b072-efba9460d67b', wm-test-2: 'Test value', wm-ds-s: '[]', ...}
  wm-cseu-id: "6d7e1d59-ff6e-4867-b072-efba9460d67b"
  wm-ds-b: "[]"
  wm-ds-hb: "[]"
  wm-ds-lb: "{}"
  wm-ds-lbb: "{}"
  wm-ds-lbp: "[]"
  wm-ds-lfb: "{}"
  wm-ds-s: "[]"
  wm-hb: {sendBaseTime: 1681028422879}
  wm-lnchr-ply-ssn: "a17d688b-26eb-4907-8b6f-92705ed9d699"
  wm-session-per-user: {bf7ed7d7-4ec5-45f9-aa72-f8024a2c145e: {...}, 6478b0d6-2ee9-4837-8bb0-6a328f292274: {...}}
  wm-smtp-init: {type: 6}
  wm-test-1: 123
  wm-test-2: "Test value"
  wm-ueug: "6478b0d6-2ee9-4837-8bb0-6a328f292274"
  wm-wmv: "6478b0d6-2ee9-4837-8bb0-6a328f292274"
  [[Prototype]]: Object
```

WalkMeAPI.storage.getExpiryDate()

- データキーの有効期限が切れる日付と時間を返します
- キー名を受け入れます
- **例**：
 - WalkMeAPI.storage.getExpiryDate('wm-test-2')

```
> WalkMeAPI.storage.getExpiryDate('wm-test-2')
< 'Sun Apr 09 2023 11:29:27'
```

質問がある場合、またはストレージ設定に関するサポートが必要な場合は、WalkMeの担当者または[サポートにお問い合わせ](#)ください。